

祭事 曆

1月1日 零時 八方除祭  
 引き続き 元旦祈禱祭  
 午前6時 八歳社末旦祭  
 引き続き 社末旦祭  
 1月2日 午後8時 元追儺祭  
 1月3日 午前8時 元始祭  
 1月8日 午前10時 元武佐弓祭  
 1月20日 午前8時30分 元月次祭



発行所  
 寒川神社社務所

〒253-0195  
 神奈川県  
 高座郡寒川町宮山3916  
 電話 代表0467(75)0004

編集 前島 正  
 責任者  
 印刷所 樹さんこうどう

初詣

平成二十七年  
 乙未年

はじまりは  
 こころから



相模國一之宮  
 八方除  
 寒川神社

大倉陽月作

鎮守の森

氏子・崇敬者の皆様におかれましては、清々しく新年をお迎えになりましたこと衷心よりお慶び申し上げます。当神社の正月は、三が日で例年約四十万人の方々が参拝され境内は大変賑わいます。平成二十七年乙未（きのとひつじ）の新しい年がスタート致しましたが、乙未年は小生の干支でもあり、早いもので今年還暦、六十歳を迎えます。還暦とは、六十年で干支が一回りして再び生まれ年の干支に戻ることから、元の暦に戻るという意味で還暦と云うそうです。生活の仕方や身体に注意を促す先人達の教えが込められています。長寿を願い、新たな始まりの年と受けとめ、先ずは早寝・早起きをモットーに、朝食・昼食・夕食は不規則にならず一定した時間に摂る等、規則正しい生活を心がけたいものです。如何に生活環境が変化しても衣食住は生きていく上での基本です。幸い当地方は、太古より温暖な気候と豊かな美りが確保され、生活し易い開けた土地柄が守られてきました。その生活・信仰の中心に寒川神社があり、人々の篤い信仰を古くからうけてきました。御祭神も、寒川比古命（さむかわひこのみこと）、寒川比女命（さむかわひめのみこと）の二柱を奉斎し、二柱をたたえて寒川大明神又は、寒川大神と称し、地域の総氏神様といえます。相模國を中心に広く関東地方を開拓になられ、農牧・植林治水・漁獵・商工・土木建築・交通運輸等の衣食住の生活一切の根源を指導せられた守護神である、と寒川神社誌は伝えています。本年も大神様の御加護のもと皆様の益々の御清福をお祈り致します。

(石腰 亮)

祝祭日には  
 国旗を掲げましょう

# 平成二十七年 年頭のご挨拶

宮司 利根康教



や九月の木曾の御嶽山の噴火、師走の四国での大雪などは記憶に新しく、犠牲になられました方々のご冥福をお祈り致しますと共に被災者の皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。

## 謹んで 初春のお慶びを申し上げます

新春を迎えるに当たり謹んで聖寿の万歳と御皇室の弥栄を言祝ぎ奉り、国の隆昌と氏子崇敬者の皆様方のご健勝とご多幸を衷心よりお祈り申し上げます。

天皇后両陛下におかせられましたは、昨年三月に三重県に行幸啓遊ばされ、第六十二回神宮式年遷宮遷御の儀の後初めて伊勢の神宮に御参拝になりました。その行幸に際して二十年振りとなる剣璽の御動座がありました事は誠に畏き極みに存じ上げます。さらには御遷宮の翌年の「御陰年」として多くの国民が伊勢の神宮に詣で、天照大御神様の御神徳をお受けになられた事ご同慶の至りでございます。一方では、日本各地で発生いたしました自然災害。八月の広島島の土砂災害

寒川神社におきましては六月末に内庭の石張り工事、向拝前のスロープ新設工事が竣功し境内全域がバリアフリー化され、ご参拝のすべての皆様方に大神様のお側近くでお詣り頂く事が可能となり、初詣の雑踏の際でも安心してご参拝頂けるものと存じます。また、戦没者の慰霊と世界の恒久平和を祈るために毎年八月十五日の終戦記念日に開催しております「相模新能」が昨年は第四十五回という佳年を迎え、これを記念し寒川神社少年館の館生が能に出演する機会を得て、無事に大役を務める事が出来ました。

### 昭和天皇御製

身はいかにもなるともいふさ とどめけり  
ただたふれゆく 民をおもひて

さて、本年は昭和天皇の御聖断を仰ぎ先の大戦の矛を収めてから七十年の節目を迎えます。愛する祖国、家族を守る為、尊い命を捧げられた護国の英

霊や、戦後の困難な時期を乗り越え今日の繁栄をもたらせて下さった先人達の御労苦を思う時 我々今を生きる者達はこれに報いる為にも、より良い国造りに励む努力をして行く事を誓わぬ訳には参りません。

### 昭和天皇御製

国をおこす もとるとみえて  
なりわひに いそしむ民の 姿たのもし

寒川神社の正月の風物詩ともなつてまいりました神門の「ねぶた飾り」も十五回を数えます。本年は素戔嗚尊の「八岐大蛇退治」を題材と致しましたこれは愛しい奇稲田姫を八岐大蛇から守るために素戔嗚尊が智慧と勇気を持つて打ち倒そうとする姿を表現し、「先の見えない情勢であっても、智慧と勇気を振り絞り立ち向かえばどんな困難にでも打ち勝つ事が出来る。この気持ちで健康で幸せ多き一年を過ごして頂きたい。」また、先ほど述べましたように、終戦七十年に当たつての先人達への誓いを込めて、「私達も叡智を結集して、美しい日本の国柄を守り伝えて行かなければならない。」との願いで製作させて頂きました。  
氏子崇敬者の皆様方におかれましては、このねぶた飾りをくぐり、「智慧と勇氣」をもって豊かな気持ちでこの一年をお過ごし下さるよう祈念申し上げます。

## 頌春



宗教法人寒川神社

### 責任役員

- |       |       |
|-------|-------|
| 入澤 一三 | 中島 啓介 |
| 前田 隆一 | 松本 学  |
| 藤沢 賢一 | 伊藤 留治 |
| 小林 亮  | 山田 文夫 |
| 飯田 誠  | 根本 康明 |
| 山上 貞夫 | 藤田 善三 |
| 田中 賢三 |       |
| 高橋 春吉 | 金子 昭  |
| 大川 静男 | 横溝 隆義 |
| 市川 元久 |       |
| 小菅 隆志 |       |
| 副総代長  |       |
| 金子 武  |       |
| 総代    |       |
| 中島 和則 | 戸田 久夫 |
| 吉見 信  | 石井 直弘 |
| 岡戸 龍  | 杉山 直弘 |
| 佐藤 廣孝 | 荒川 直誠 |
| 石黒 勉  | 福岡 清一 |
| 高林 靖男 | 猪原 和泰 |
| 東 正彦  | 泰山 泰雄 |
| 江川 辰夫 |       |



# 迎春神話ねぶた神門を飾る



新年神門を明るく飾る迎春神話ねぶた「八岐大蛇退治」が十二月二十日取付られました。

一日中雨の降る悪天候でしたが、予定通りに作業は進められ、午後四時三十分魂入れが行われ、囃子の音が境内に響きわたると共に魂が吹きこまれました。

ねぶたは二月三日まで飾られ、夜間には灯が入られます。

# 金華山黄金山神社 石鳥居再建される



宮間宮司奉納の石鳥居

宮城県鹿半島沖に鎮座する金華山黄金山神社（奥海聖宮司）では平成二十三年の東日本大震災で倒壊した明治二十二年建立の石鳥居が再建されこの度十一月二十九日に竣功しました

奥海宮司は寒川神社の旧職員でありその御縁をもつて、震災以来「被災神社直接支援」として境内各所に募金箱を設置させ



▲震災直後の倒壊した石鳥居

て頂き、ご参拝の皆様方からの御支援のお願いを申し上げており、これまで数度に亘り黄金山神社に義捐金をお届けさせて頂いております。

この度の鳥居の再建は同じく旧職員である千葉市鎮座の検見川神社宮間尊土宮司からの奉納で完成したものであり、被災神社の一日でも早い復興を願う旧職員間の厚い「絆」を感じます

鳥居は、礎石幅約5m三〇cm・高さ約六mの御影石造りの明神鳥居で、奥海宮司は「今後の復興のシンボル、励みとして境内復旧に尽力して行きたい。」と宮間宮司に感謝の言葉を述べられました。

# 天長祭齋行

田尾先生、憲法を熱く語る

天皇陛下の満八十一歳を寿ぐと共に、陛下のご長寿

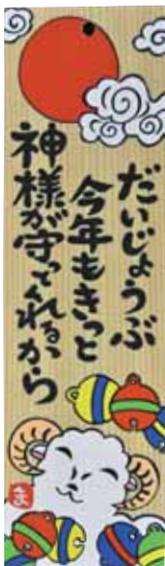


と皇室の弥栄と国家の繁栄氏子崇敬者の隆昌を祈念する天長祭が十二月二十三日厳肅に齋行されました。

祭典後は、参集殿に於いて記念講演が開催され、神道政治連盟主席政策委員の田尾憲男氏を講師としてお招きし、「憲法改正に向けて」との演目にて、昨今の憲法改正の気運が高まる中において、日本に相応しい憲法の在り方等を、解りやすくご講話頂きました。

# 今月の木札

睦月



月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です

伊勢神道中興の祖、度会延佳は「祈らずとも神は守らん、まして祈れば」と述べている。神の御守護を戴き、幸多き一年を…。

# 昨年を振り返って

皆様の運氣上昇を願い  
**客殿手水処に絵画飾られる**



新年、日本画家の山岸泉琳氏が描いた絵画「上弦の月」が客殿手水処に飾られました。

この絵画は流水描の技法が用いられており、山岸氏の「参拝者の方にこの絵を見ながら手水を受けて頂く事で、安らかな姿勢でお参りをされ、上昇するエネルギーを得て頂きたい」との思いが込められています。

**二月 大雪に見舞われる**

関東地方では二月大寒波に見舞われ、例年になり積雪を記録しました。大雪は二度に亘り土日にかけて降り、大勢の参拝者で賑わう境内も、交通機能が失われた為、人はまばらとなりました。参道も多くの樹木が倒れ一時通行止めになるなど大きな傷跡を残し、職員総出で復旧作業に当たりました。



鎌倉能舞台主宰  
**中森貫太氏  
神歌を奉納**

三月一日に斎行された月次祭にて、相模新能に長年ご奉仕頂いている鎌倉能舞台主宰中森貫太氏により神歌（かみうた）が奉納され、御神徳が讃えられ更なる発揚が願われました。

神歌は、正月や記念等目出度い時に、特別な立場の者が特別な場合にのみ演ずる事が許されています。

**内庭 総石張りに改修**

◀ 竣功後の内庭



による危険や砂塵による悪影響を解消する為、すべて石張りへと改修されました。

また、西側には入口ブも設置され、車椅子を利用の方にも費銭箱の前にて参拝頂く事が出来るようになりました。

この工事に併せ、緑青による生育の影響を鑑み、御神木も南側へと移植されました。

◀ 新設スロープ



寒川神社の内庭は玉砂利が敷詰められておりましたが、正月等参拝の方が大勢お参りされる時期に懸念されていた、段差

▶ 移植された御神木



### 大注連縄掛替えられる



六月十一日、御本殿向拝前の大注連縄が三年ぶりに掛替えられました。注連縄は、長さ十四・五メートルで一トン程の重さがあり、一か月余りかけて丁寧に奉製した榎金子建材土木の職人達三十名程の人手により一日をかけて掛替えられました。

### 第四十五回相模新能に少年館生が出演



終戦記念日である八月十五日、護国の英霊と戦争犠牲者を慰霊すると共に、世界の恒久平和を祈る「相模新能」が開催されました。本年は四十五回を記念し、青少年育成の一環として活動しております「寒川神社少年館」の館生十五名が、稚児役として出演し日本の伝統芸能に触れました。

### 裁許状下附される

寒川神社には、追儺祭の副土や田打舞神事の舞人、国府祭の虎の皮所役浜降祭の浜神主等、各種神事に先祖累代奉仕頂く神事奉仕者が九名おり九月七日、奉仕者それぞれに裁許状が下附されました。

御本殿では下附式が執り行われ、各奉仕者は修被を受けた後、玉串を捧げ、宮司より裁許状を受け取りました。



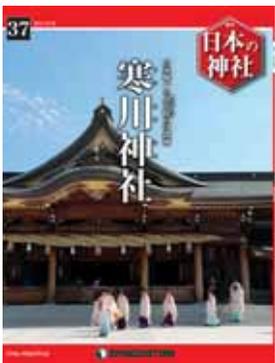
### BSジャパン「神社百景」寒川神社を放映



BSジャパンで毎週土曜日正午より放映されている「神社百景」に、寒川神社が取り上げられました。放映は八月三十一日に行われ、ハイビジョンカメラで撮られた風景に神社の美しさと荘厳さを改めて実感させられました。

### 週刊「日本の神社」寒川神社編発行

十月十四日発売の、週刊「日本の神社」第三十七号に寒川神社が「古来唯一の八



方除の守護神」として掲載されました。「日本の神社」は(株)デアゴスティーニ・ジャパンより発行されており全国より選ばれた神社が数多くの写真やCG・イラストにより紹介されています。



453

健康手帳

# 鼠径(そけい)ヘルニア

## 脱腸の話

宗教法人 寒川神社 寒川病院  
消化器科医長 原 正

皆さんは「脱腸」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。幼児の場合の脱腸は「子供が急に鼠径部(足の付け根)を痛がり火がついたように泣き始め触ってみると少し膨らんだようになっていいる。しばらくするとそのように泣き止む。この時鼠径部のふくらみは無くなっている」というような経過が典型例かもしれません。一方、「ヘルニア」とは体内の臓器が本来あるべき部位から脱出した状態をいいます。今回お話するのは成人の脱腸(鼠径ヘルニア)についてです。

成人の場合の鼠径ヘルニアは中高年の男性に多く「鼠径部が腫れる」、「鼠径部に違和感がある」といった症状で気づく方が多いようです。その成因は一言で言うと「筋膜の緩み」です。男性は生まれてくる少し前から睾丸が自分のお腹の中から陰嚢に向かって降りていきます。この時、睾丸は腹壁を構成する筋膜の「くぼみ」を通ります。この「くぼみ」の部分が緩み、ここからお腹の内容物(腸であったり脂肪組織・大網といえます)が飛び出して鼠径ヘルニアとなります。治療は「筋膜の緩み」を補強することが基本です。内服薬や筋力トレーニングではこの「筋膜の緩み」を補強することができません。従来手術が必要となります。従来手術は筋膜の健常部を縫い縮めて緩んだ部位を補強する方法が一般的でしたが、15年ほど前からポリプロピレンというものでできた「メツ

シユ」という人工膜で補強する術式が主流になってきました。最近ではさらに改良が進み様々な形状の物や柔らかいメツシユも登場しています。手術時間は1時間ほどです。

鼠径ヘルニアは「がん」のような悪性疾患ではないので、放置していても命にかかわることはほとんどありません。ですから手術を希望する場合には、患者さんが症状と都合との兼ね合いで日程を決めて良いと思います(当院の場合、入院期間は4~5日です)。しかし、稀に鼠径部が腫れたまま戻らず強い痛みを伴ったことがあります。この状態を「かんとん」といい、飛び出た腸が締め付けられて数時間すると腐ってしまうため、緊急手術となる場合もあります。

鼠径部に「腫れ」や「違和感」がある場合には、一度外科を受診してみてください。当院ではメツシユ法はもちろん、場合にに応じて従来の術式も柔軟に取り入れて手術を行っています。



### 医療講演会のご案内

とき 平成27年1月29日(木)  
午後2時~3時

ところ 寒川神社 参集殿

内容 「健康についてのいくつかの話題」

医師 健康管理科 医長  
車田知之

入場無料 申込不要  
ご来場をお待ちしております。

0467-75-6680  
寒川病院

境内売店ののご案内

「八福餅本舗」の八福餅  
「小田原丸う」のかまぼこ  
「塩瀬絵本家」の羊かんパームクレープ  
「落雁 諸江屋」の金沢の和菓子  
神棚おやしる他 御神具  
(特製)御朱印帳

御神紋子ヨコレート  
寒川神社参集殿 限定商品

新発売

多数お揃えしております。参拝みやげ・ご進物に御利用ください。  
寒川神社参集殿 ☎0467-75-5555

冬川俳壇

短日や速達便で出す封書  
 行楽の出端をくしく朝しぐれ  
 手の赤く魚屋女房息白し  
 火を点けぬ良くわへて飾売  
 急きたてる薬缶の笛や暮早し  
 短日の連山青く暮れ残る  
 冬蝶の命しずかに石を抱く  
 水鳥の一下魂となる日暮れ  
 小春日や敷布からつと乾きけり  
 吹きすさぶ風をまともに冬耕す  
 毛糸帽前も後もなかりけり  
 忸怩たる思ひの文や着ぶくれて  
 通されてしばらく無言冬座敷  
 わるさ風枯葉ころりと体育館  
 ビービーと薬缶の合図暮早し  
 暮早し夕焼小焼の忙しさよ  
 冬の夜のまあるく眠り母の夢  
 無為徒会八十路半ばの年の暮れ  
 病む友の安否を思う師走かな  
 ちよっと佳き話舞い込む小春かな

根岸 君子  
 飛石 樺花  
 宮入 つる  
 芹澤 徳光  
 松本美智子  
 浦野 房子  
 伊藤 公一  
 金指 月光  
 菅沼つめの  
 四ツ車梢月  
 倉谷 節子  
 吉岡 徜徉  
 岩田美代子  
 原野 楽天  
 竹村真砂美  
 皆川志んご  
 露木てる子  
 天沼 子平  
 三輪 恭子  
 菅沼 保幸



一月 手水舎奉掲

明治天皇御製

家ごとくに松かざりしてものふりし  
軒もあらたに見ゆるけふかな

相模詠草

日溜りの芝生の上をビョンビョン遊ぶ小鳥の楽し気なるも  
 陸奥の嫁より届くりんどうは心づかいに句う愛しも  
 台風の去りし秋晴れ昼下り名も知らぬ鳥高校に鳴く  
 行き摺りの人と思わず感声を冷気の朝の冠雪の富士  
 テノールの「錦織 健」は魅了するピアノニシモと澄める高音  
 嵐去り地面は落葉に彩どらる上枝寂しく秋風の吹く  
 亡き夫の新盆白い提灯のゆるるにつぶやく「お帰りなさい」  
 うす紅の秋明菊の咲きそめて七重の花びら雨に濡れあつ  
 降り立ちし小さな駅舎にコスモスの優しくゆれて吾を迎える  
 貴婦人の装うごととき佇まい初冠雪の富士遠見ゆる  
 再生の命をいだく赤き芽の牡丹の蕾寒さに耐えよ  
 発泡の箱に育てし法蓮草姪持ちくれし今が食べ頃  
 延命治療を拒みいし夫の安らかな黄泉への旅立ち百歳六ヶ月  
 おそ咲きの日々草はまだ盛り赤・白・ピンクの色探りもよし  
 語りつつ姉と床並べかかる夜のと幾度をふつと思ひぬ  
 秋分を「秋分け」といふ知恵遅き生徒の感性吾は愛しめり  
 来し方を想いつつ書く年賀状 初冬の夜の静寂深まる

浜田 寿子  
 山口 幸子  
 山根喜美代  
 亀山 文子  
 安藤 慧  
 川島恵美子  
 天利 春枝  
 平澤まさえ  
 稲垣 武子  
 吉田 幸子  
 宮治友美枝  
 徳江 道子  
 宇田川時子  
 土屋トミ子  
 岡元 芳子  
 杉本 照世  
 瀧本三重子



表紙写真説明

年末年始、鉄道会社の駅や  
車内を飾る初詣ポスター

編集後記

羽根つきは子供達の厄払いの  
遊びで、顔に墨を塗るのも魔

平成27乙未年 厄年一覧表

性別	年齢 (かぞえ年)	前厄	本厄	後厄	性別	年齢 (かぞえ年)	前厄	本厄	後厄
男	25歳	平成4年生	平成3年生	平成2年生	女	19歳	平成10年生	平成9年生	平成8年生
	42歳	昭和50年生	昭和49年生	昭和48年生		33歳	昭和59年生	昭和58年生	昭和57年生
	61歳	昭和31年生	昭和30年生	昭和29年生		37歳	昭和55年生	昭和54年生	昭和53年生

除けのおまじないである。  
早速行い、娘の顔を墨だらけ  
にしたらきつく嫁に怒られた  
子の厄が親に来たようである